

第1回全国車いすハンドボールKnockuカップ 実施報告書

作成:一般社団法人Knocku



大会実施概要

日時:2023年7月23日(日)10:30-18:00

場所:新宿コズミックセンター(〒169-0072 東京都新宿区大久保3-1-2)

来場者数:合計168名(うち、区民16名)

内訳:大会参加者43名、体験会参加者21名、見学者38名、ボランティア66名

※参加者64名中、障害者18名(28%)

主催:一般社団法人Knocku

共催:新宿区

トップパートナー:REAL HANDBALL

パートナー:新宿運輸商事株式会社

後援:東京都、一般社団法人日本車椅子ハンドボール連盟、東京都ハンドボール協会、新宿区ハンドボール協会、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

助成団体:スポーツ振興くじ

大会スケジュール:

10:30-12:00:ビギナーズカップ / 体験会

12:00-13:00:日本代表選手によるエキシビジョンマッチ

13:15-14:30:ビギナーズカップ

14:30-17:30:チャレンジカップ

17:30-18:00:閉会式

参加カテゴリー:

【大会】

①チャレンジカップ(6人制)～競技志向の方向け～

(レベル目安:車いすスポーツ競技5年以上)

②ビギナーズカップ(4人制)～楽しみ志向かつスポーツに自信のある方向け～

(レベル目安:車いすスポーツ競技5年未満)

【体験会】

～初めての方向け～

車椅子操作・パス・シュートなど、車いすハンドボール日本代表選手が基礎からレクチャー



コンテンツごとの大会レポート

【体験会】

車いすハンドボール体験会には21名の方々にご参加頂きました。7歳のお子様から60代の方まで、耳に障害のある方や身体に障害のある方など、多様な参加者同士の交流も生まれました。全員、車いすハンドボールをするのは初めての方でしたが、選手の丁寧な指導で車いすハンドボールのコツを徐々に掴んでいる様子でした。最後はミニゲームを行い、シュートが決まると全員で喜ぶ姿も見られ、終始和気あいあいとした雰囲気の中、皆さんが笑顔で車いすハンドボールを楽しんでいる様子が見られました。なかでも、障害のある子とない子同士の双子の姉妹が参加している姿が印象的で、ふたりとも体験会から大会の最後までイベントを楽しんでくれていました。

【体験会に参加した障害のある双子の親御さんからのメッセージ】

双子の娘の一人は生まれつきの脳性麻痺で下半身が不自由です。知的には問題が無いため、普通小学校の通常級になんとか通っています。双子は仲が良く、いつも一緒に遊びたいのですがなかなか同じ条件下で遊んだりスポーツをする機会が無く。健常児の子の方もそのまま運動が苦手な子に成長してしまいました。

昨日は二人ともすごく楽しめたようで、かつ私も主人も同じ目線で参加することができ、貴重な体験ができました。まさか自分が肢体不自由児の親になるなんて思ってもみなかったです。色々辛いこともありましたが、前向きにスポーツを楽しめる環境があるんだと実感することができました！

車椅子の娘は毎日、自ら良い事日記なるものを付けているようですが、ゆうべ寝る前に、「ママ、今日は良い事がありすぎて書ききれないよ！」と、嬉しそうに話してくれました。参加して良かったと心から思いました。



コンテンツごとの大会レポート

【ビギナーズカップ】

ビギナーズカップには、車いすスポーツを何度かやったことがある人達や、ハンドボール経験者が集まり、合計6チームが出場しました。障害のある子どもたちも3名出場しており、健常者の大人に負けにくいのはつらつとしたプレーを見せてくれました。優勝したのは「Thethis東京3」チームで、MVPは同チームの松本賢選手でした。松本選手は元々ハンドボールをプレーしており、ドイツのチームでもプレーした経験があるアスリートでした。しかし、膝の怪我によって選手活動を断念することを余儀なくされました。そんな中、車いすハンドボールと出会い、この競技と出会ってあらたな目標ができたと話してくれました。

【大会オフィシャル】

ビギナーズカップのオフィシャルにはハンドボール部の高校生約20名がボランティアで参加し、初めてのボランティア経験と初めて見る車いすハンドボール観戦を通じて様々な学びを持って帰っていました。大会後に、「車椅子ハンドボールが初めてだったので、とても新鮮だった。また、近隣の人や地域住民の人との交流が大切だと気づいた。」「大会には選手だけでなくスタッフの方々も大会前から多くの準備をし、大会を支えているからこそ成功するものだと学んだ。」「パラスポーツがいま以上に地域で普及できるように、パラスポーツを学びたいと感じた。」といったコメントが寄せられていた。



コンテンツごとの大会レポート

【日本代表選手のエキシビジョンマッチ】

エキシビジョンマッチには、2022年度車いすハンドボール日本代表選手が出場し、トップレベルのプレーを見せてくれました。対戦相手も車いすバスケットボール強豪チームに所属する選手ばかりで、前半は日本代表チームが苦戦を強いられる展開となりました。しかし、後半は日本代表選手のプライドを見せ、見事逆転勝利を収めました。力強いシュートや激しいディフェンス、技ありのシュートなど様々な見せ場があり、観戦に来ていた方々やボランティアのみなさんから歓声が沸き上がっていました。

【チャレンジカップ】

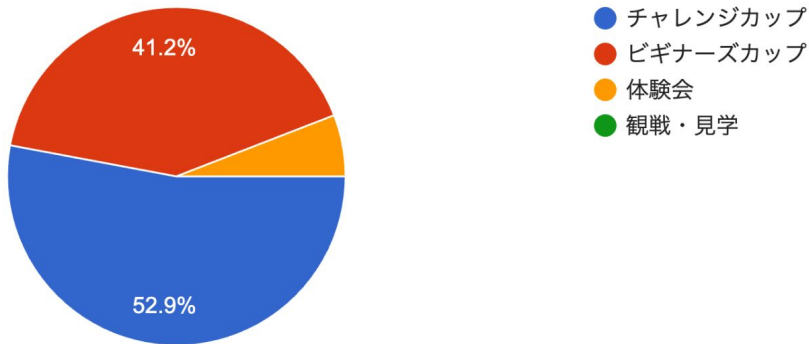
チャレンジカップには、「Underdog」「TOKYO WAVES」侃い(つよい)チームの3チームが出場しました。各チームにはエキシビジョンマッチに出場していた選手も多く、こちらも非常にレベルの高い試合展開となりました。優勝したのは去年に引き続き「Underdog」チームで、MVPは確実なディフェンスと意表をつくループシュートを何本も決めていた同チームの永田裕幸選手(右写真)が選ばれました。



事後アンケートの結果(参加者)※17件の回答

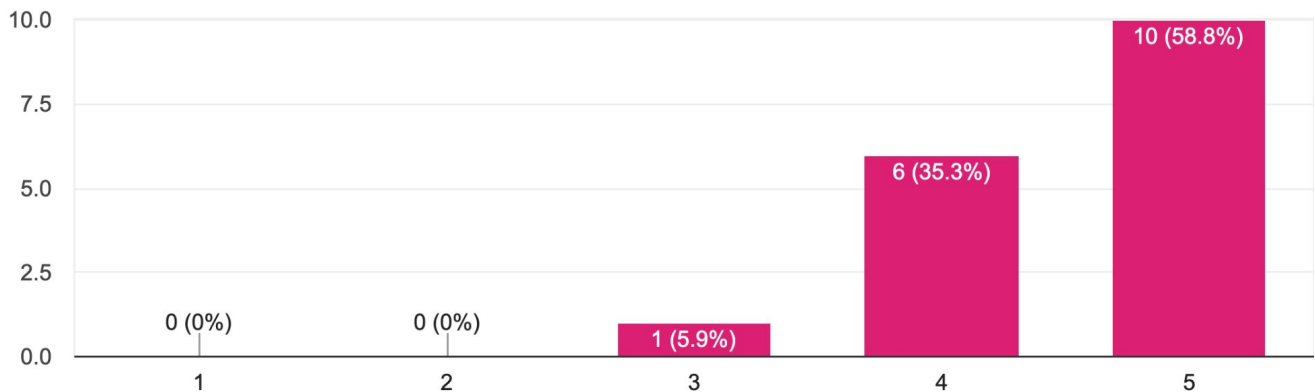
参加カテゴリーを教えてください。

17件の回答



大会の総合満足度を教えてください。

17件の回答



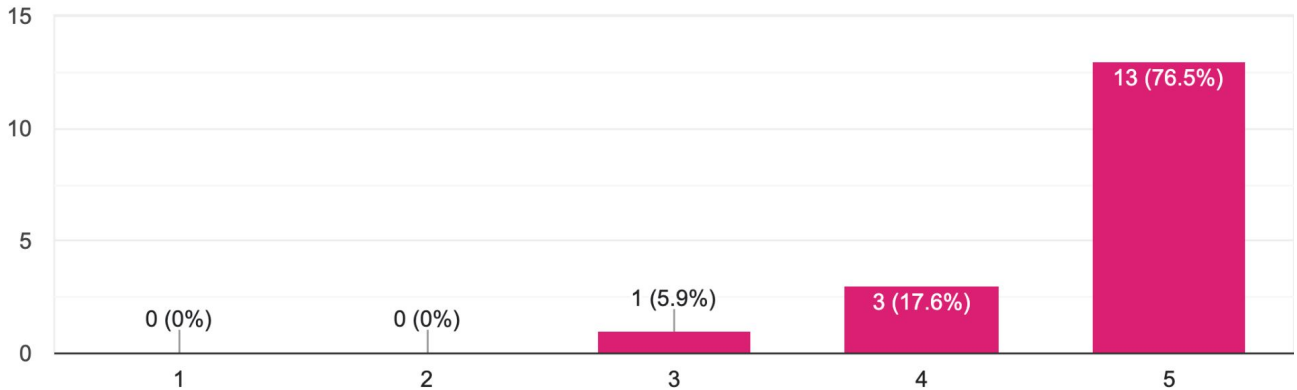
先程の質問に対し、なぜそのように答えましたか？理由を教えてください。

- 試合のレベルが高く楽しめたため
- 初参加でしたがとっても良い経験になりました。また機会があれば参加させていただきたいとおもいます。もっと身近にできるところが増えたらいいなとも思いました。RHが関わっているところは不安になりました。
- 初めての車いすハンドボール大会を楽しめました。
- 試合時間がもう少しほしい。
- 初めてで試合だったので最初はわけもわからず過ぎていきました。3試合でやっと少しつかめました。
- ありがとうございました！
- 運営もスムーズで、初心者でもとても楽しめました！
- 車いすハンドボールの未来が楽しみ！
- 試合の環境が良かったです。
- 試合時間が20分ハーフ、チーム強度感がもう少し合うとより楽しめたと感じます。
- 体験会、試合数等の時間が長く身体的にしんどかった プレイヤーとしていいパフォーマンスができたとは言えなかった
- 誰でも楽しめ、競技レベルも高いため。
- 初めての体験でしたがとても楽しむことができました！

事後アンケートの結果(参加者)※17件の回答

車いすハンドボールを楽しむことができましたか

17件の回答

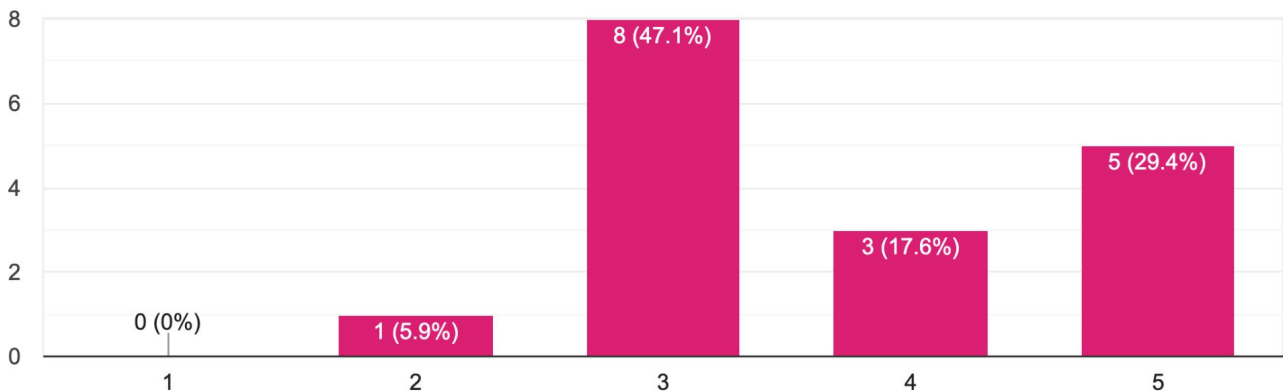


先程の質問に対し、なぜそのように答えましたか？理由を教えてください。

- 初めて乗るので操作が難しかったけど新しいスタイルのハンドボールでおもしろかった。
- 3試合も試合できたこと。
- 将来に期待が持てる
- 徐々に車いすハンドボールを掘り下げた内容でトークしながらプレーするように、全体的になってきたから。
- 普段使わない体の部位を使って運動できた気がします！

他の参加者や運営スタッフ・ボランティアスタッフとの交流はできましたか

17件の回答



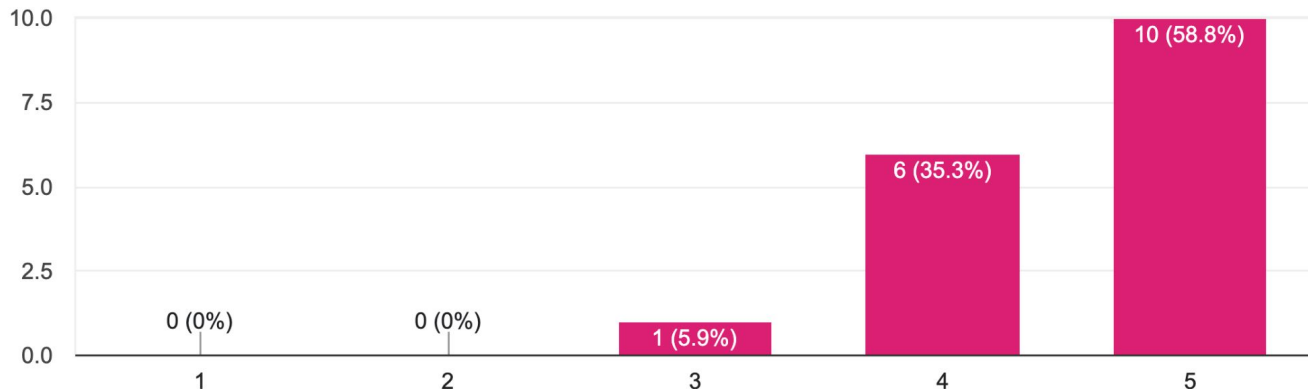
先程の質問に対し、なぜそのように答えましたか？理由を教えてください。

- チームメイト以外とはあんまり接点なかったかなあ。
- 話す機会は少なかったです。
- チームメンバーと話せた
- 体温調節障害があり、自身での準備が不十分だったため、空き時間に体温を下げる休息と、氷の購入をしいっていたりイベント終了時には身体に不調があり直ぐに帰ってしまったため。
- 気さくに話せた！
- 体育館にいる時間が短かったこともあり、普段顔を合わせるメンバーとしか話すことはなかった。

事後アンケートの結果(参加者)※17件の回答

会場の雰囲気はどうでしたか。

17件の回答

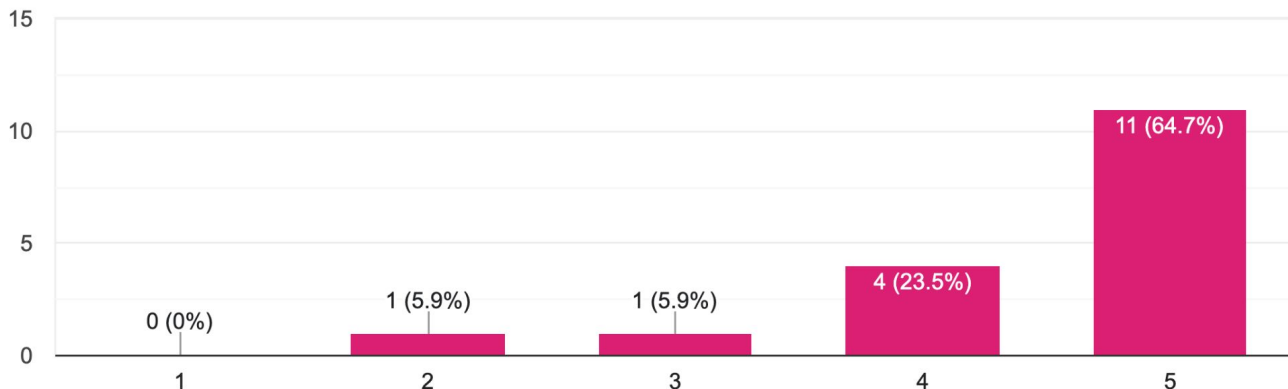


先程の質問に対し、なぜそのように答えましたか？理由を教えてください。

- 音楽が流れたり、解説・実況があって雰囲気が良かったです。
- ガチガチしてなくて、柔らかい雰囲気
- 見ている人も多く、MCもよかった。チャレンジカップは最後に連チャンだったので、見る人がまばらになってしまったのが少々残念だった。
- 盛り上がっていたので

2. スタッフの動きや態度

17件の回答



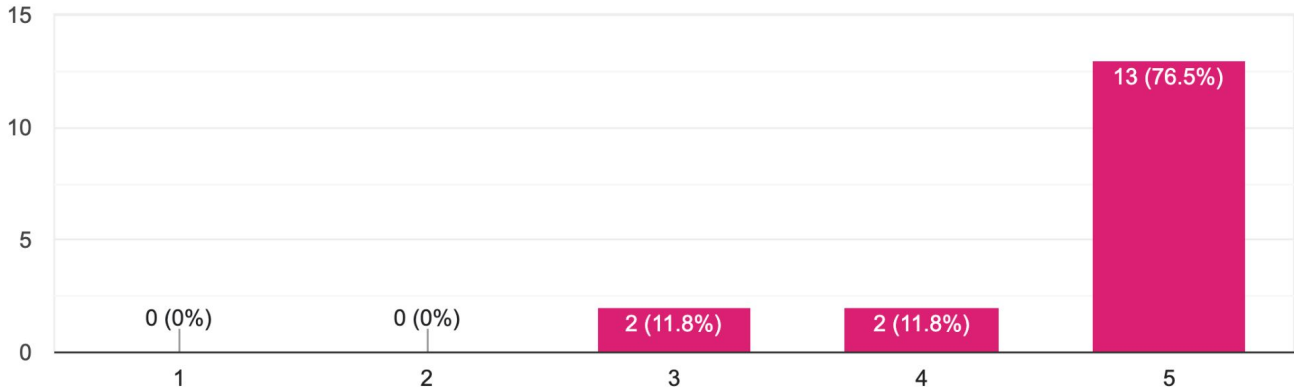
先程の質問に対し、なぜそのように答えましたか？理由を教えてください。

- とても頑張ってくれました。
- 最初にコートだけ指定されて、いっても声もかけてもらえなかったから、どうすればいいのかわからなかった。
- 運営の皆さんのおかげでイベントを最後まで楽しむことができました。大変お忙しいなか、氷のうを作るのを手伝っていただけたり、冷房が効いた部屋へ案内、小型扇風機までお貸しいただき本当に助かりました。

事後アンケートの結果(参加者)※17件の回答

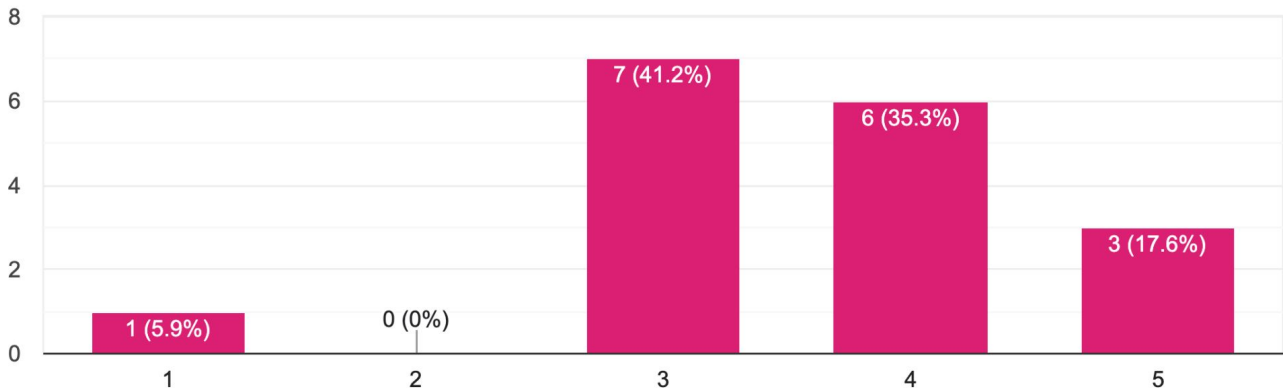
イベントの開催日程 (日曜日)

17件の回答



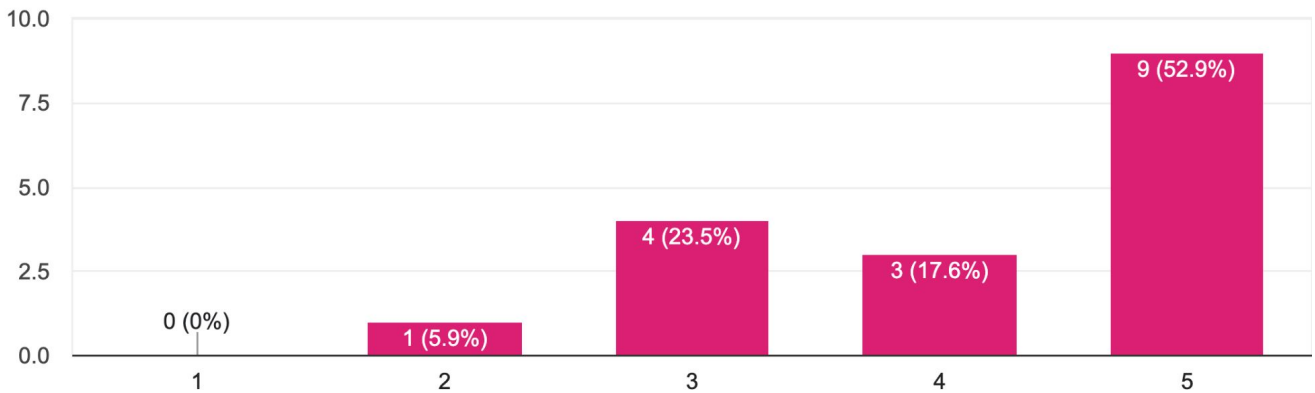
イベントの開催時間 (10:30~18:00)

17件の回答



イベントの開催場所 (新宿コズミックセンター)

17件の回答



事後アンケートの結果(参加者)※17件の回答

本大会へのご感想・ご意見、改善点等を自由にご記入ください。

- また来年も開催してほしい！！
- ビギナーの後にビギナーの表彰があると良かった。残れなかったの。
- 狭くてもコートは2面のままでいいので試合数を増やしてほしいです。前後半でなく、1セットでも問題ありません。エキシビジョンマッチとチャレンジマッチも1セットで試合数を増やして下さい。またビギナーズカップとチャレンジカップの決勝戦だけはフルコートにするといいです。ビギナーズカップが終った段階でビギナーズカップの表彰式を行うと賞状を貰う選手が帰らず残ってくれます。
- 参加する人が何をすれば良いのか、状況がわかるようにしてほしい。
- パンフレット用の事前のアンケート項目、記載例などを入れてどういう回答が欲しいのか具体的にしてもらえたらよかった。
- 実際、パンフレットでも記載方法がバラバラで統一感がなかった。(「障害の種類」で障害の原因を書いていたたり、手帳の障害名や等級を書いていたたり。)
- 競技車を持って来る以上、車が必要になってしまう。
- 駐車場の数の少なさや金額が気になります。
- 高校生が動いてくれたので試合によく集中できました！ありがとうございます！
- とても良い大会で楽しませて頂きました。
- 特に実況、解説が良く、プレイしていても、観戦していても楽しめました。
- スタッフの皆さまお疲れ様でした。

今後のイベントに期待することをお聞かせください。

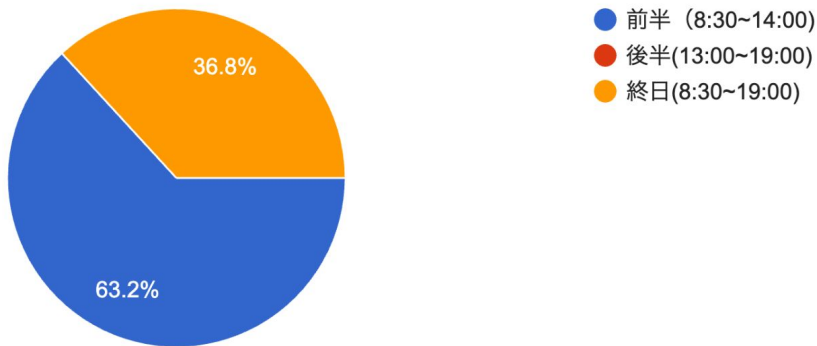
- 楽しかったのでまたお願いします！
- 第2回大会も楽しみにしています！
- いろいろなパラスポーツの体験会をして欲しい。
- カテゴリーが分かれていることを続け、お互いがあるカテゴリーでよいと思える帰属意識や肯定感を感じられ、お互いのカテゴリーを認め合え、自分に合ったカテゴリーで楽しめる雰囲気が継続できることを期待します。



事後アンケートの結果(ボランティア)※19件の回答

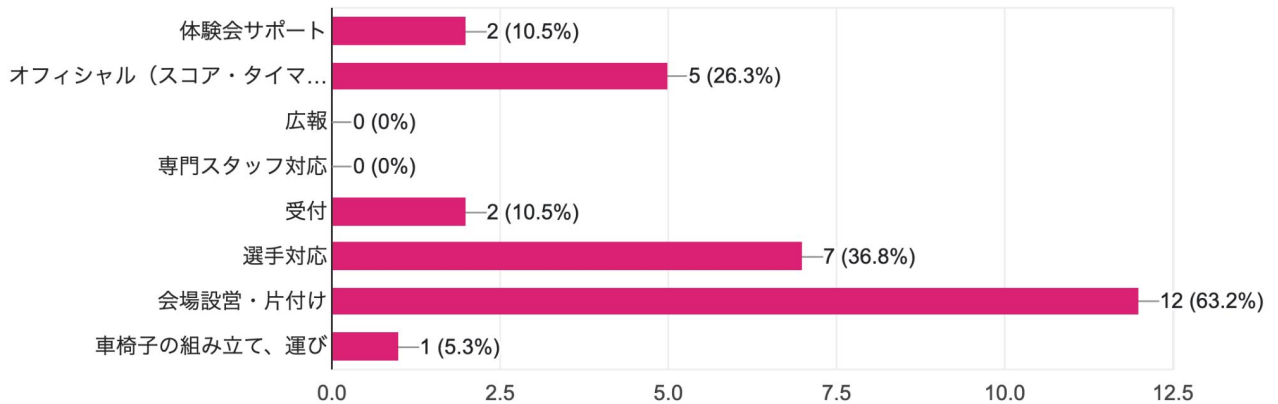
1.活動時間を教えてください。

19件の回答



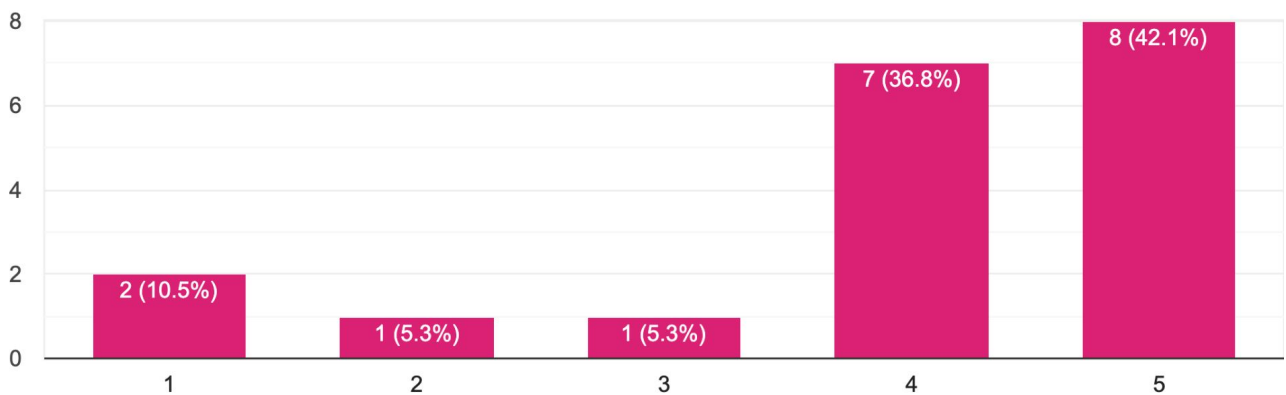
2.担ったボランティア役割を教えてください。(複数選択)

19件の回答



3.今回の大会ボランティア活動全体の満足度を教えてください。

19件の回答



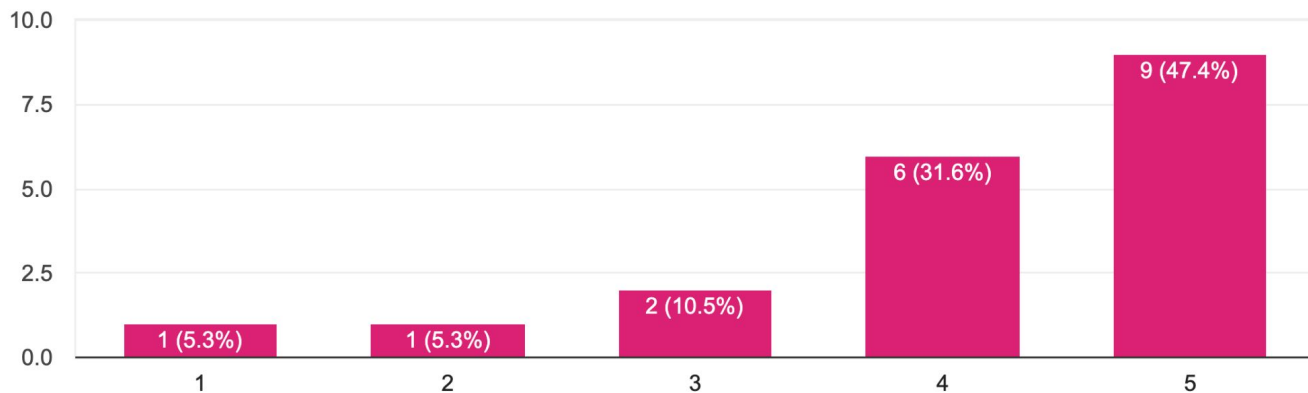
事後アンケートの結果(ボランティア)※19件の回答

4. 先程の質問に対し、なぜそのように答えましたか？理由を教えてください。

- 空白の時間があるときがあったから、もうちょっと働けたと思う。
- 多くの人と交流を持つことができた
- 障がい者スポーツのイベントに初めて携わることができ、そこで現場の雰囲気や様子、参加者の反応などを肌で感じることができ、新たな知見を得る事ができたためとても満足しています。また、色々な方と出会い、親睦を深めることができとても良い機会になりました。
- とても楽しかったし、日本代表の車椅子ハンドボールの試合を見ることも出来たから
- 大会に出場する方々のお役に立てたと思うから。
- 幅広い年代の方と関わる機会となったため
- 見るだけの時間も多く、やることも限られていて少し物足りなかった。
- 片付け場所の共有などがあまりできていなかったため分からないことが少しあった。
- 満足感はあるが会場の設営が終わったらあまり仕事がなかった
- ボランティア自体初めてもっと動けたと思ったから
- 自分が手が空いている時間があったので、少し心残りだった。
- 大会運営の大変さや多くの方の努力によって成り立っていることがわかった。
- 車椅子ハンドボールを見る機会がなく、貴重だったから。
- 体験会は当日の変更が多く、臨機応変な対応が求められました。

5. 今回のボランティアで担った役割の満足度を教えてください。

19件の回答



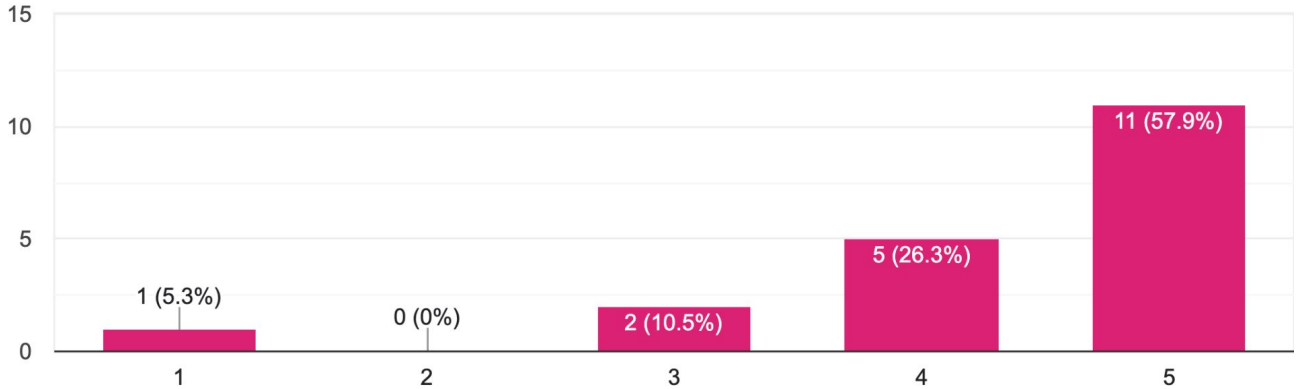
6. 先程の質問に対し、なぜそのように答えましたか？理由を教えてください。

- 試合運営で必ず必要な役割だったから。
- 何事も初めての経験だったのでどのような役割でも満足することができました。
- ボランティアする中でも選手と関わるととても楽しかったから
- 出場選手にありがとうなど言われ、嬉しい気持ちになったから。
- 何もしていない時間が長かった
- 体験会に参加して下さった方が楽しそうにされていたため
- 準備している間は充実していたが、大会中はすることが少なく(ボール拾いするにも人数が多くて1人あたりの拾うボールが少ない、そもそもボールがとんでこない物足りなく感じた。
- 後半のチャレンジカップはほとんど誘導が必要ない選手ばかりでした。
- 自分の仕事をやりきれたと思う
- 日頃の経験がいかせた
- 得点板をしながら間近で試合を観ることができてよかった。
- 試合を見ながら行えたので楽しかったからです。
- あまり設営に協力出来ていなかった気がしたから。

事後アンケートの結果(ボランティア)※19件の回答

7.大会のボランティアを通じて学びや気づきはありましたか

19件の回答

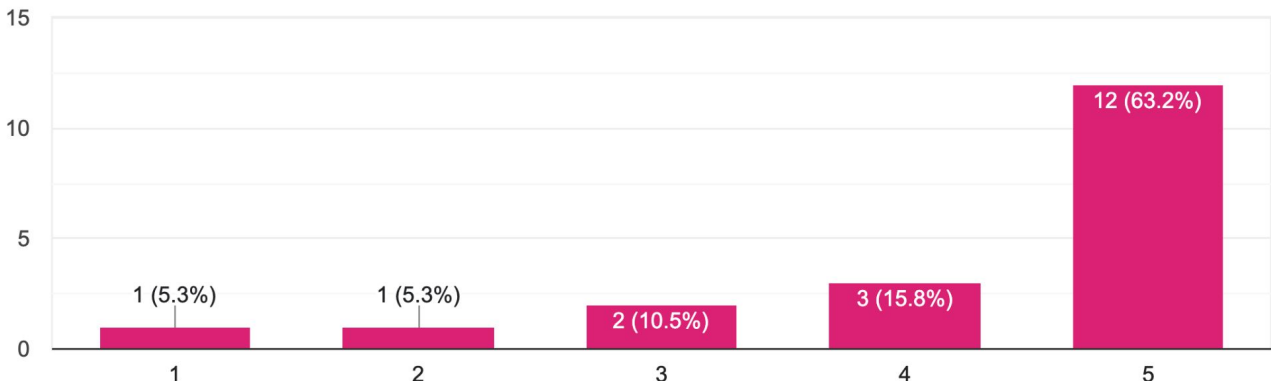


8. 先程の質問に対し、具体的にどのような学びや気づきがあったか教えてください。

- 会場がこうやって準備されているんだな、とか、この人達がいるからこそ普段何も気にせず動けているということに気づいた。
- このようなイベントにどのような人たちが参加しているのかや何を求めて参加しているのか、障がい者スポーツイベントの需要などが少しわかったような気がしています。
- 車椅子ハンドボールは健常者でもどんな人でも楽しめるものであること
- 人の役に立つのはとても達成感があるということを学べた。
- パラスポーツがいま以上に地域で普及できるように、パラスポーツを学びたいと感じた
- ハンドができるということと車椅子ハンドが上手いということは必ずしもイコールではないこと。
- 健常者と障がい者との共生への考え方などがわかった。
- 車いすの人も全力でスポーツに取り組んでいる人が多いことを知れた
- 先の動きを見通す力が足りないと気づいた
- 大会には選手だけでなくスタッフなどの方々が大会前から多くの準備をし、大会を支えているからこそ成功するものだと学んだ。
- 任された役割以外にも自分からやることを探すのが大事というのを学びました。
- 自分で考えて動くことをより意識した方がいいことを学べた。

9. またこのようなボランティア活動があれば参加してみたいと思いますか。

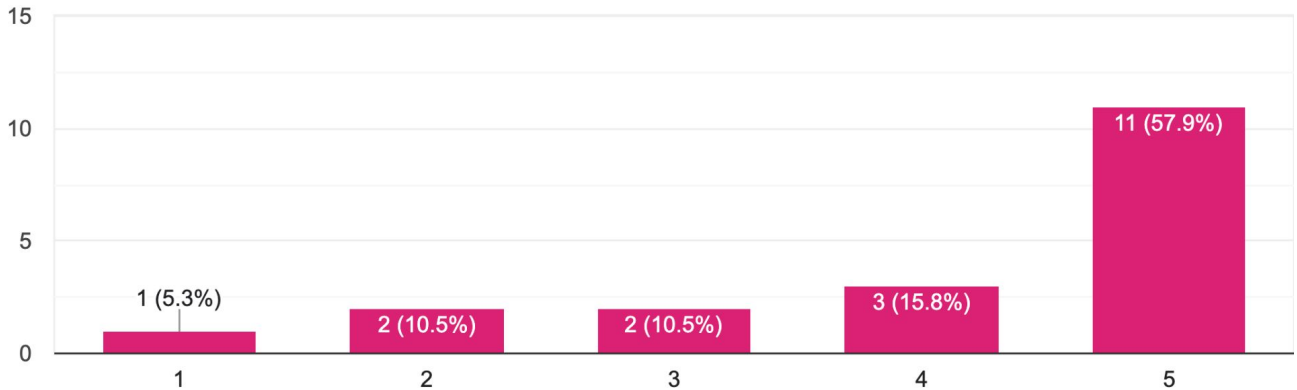
19件の回答



事後アンケートの結果(ボランティア)※19件の回答

10.このようなボランティア活動を、他の友達にも勧めたいと思いますか。

19件の回答



9.今回のイベントで感じたこと、印象に残ったことなど、感想を記入してください。

- 楽しかった。日本代表の試合が見れて良かった！
- 初めて大会ボランティアに参加しましたが、終日笑顔が絶えないイベントで良かったです。次回以降はもっと積極的に行動したいと思います。
- 参加者が楽しそうに活動しているところが特に印象に残りました。
- 車椅子ハンドボールでも車椅子同士とても強くあたりにいていることに気づいた
- ボランティアは大変でした。特に障害のある方のボランティアだったのできを使うことが多かったです。しかし、その分やりがいもあり充実した時間でした。
- 車イスハンドボールについて知ることができて良かった
- エキシビジョンマッチが大迫力で最高でした！
- 日本代表の試合で、車椅子がひっくり返ったとき、仲間が手を貸して助けに行くのが印象的だった。また1人で立ち上げられるのも驚いた。
- チャレンジカップは印象に残った。
- ボランティア同士の連携が取れていて流れがスムーズだったと思う。
- 車椅子ハンドボールの魅力をしれた
- 車椅子ハンドボールが迫力があって面白かった
- 先程書いた通り、パラリンピック競技に触れるという事が日常生活を送っている上で、あまりないのでとても新鮮な経験だった。
- 車椅子ハンドボールを観たことはなかったが、今回のボランティアを通して興味が湧いた。
- 車椅子ハンドボールについて知れてとてもためになりました。
- 試合を見て楽しみながらボランティアの活動ができました。活動の中で関わる方々と話す時間があり、様々な方のお話を聞けたことも良かったです。障害の有無に関わらない活動の場を普段あまり見る機会がないため、終日感動しておりました。このような場を、もっと多く作れたらなと思いました。
- プロの選手の試合はすごく印象に残りました。
- ボランティアも自由度が高く、気楽に参加できました。また、高校生がとても活躍してくれて助かりました。

大会収支報告

令和5年度 収支報告書

団体名	一般社団法人Knocku
事業名	第1回全国車いすハンドボールKnockuカップ

収入の部		
科目	詳細	金額
くじ助成金収入	スポーツくじ助成 (4/5助成)	¥509,000
協賛金収入		¥0
入場料収入		¥0
参加料収入	大会団体申込：15000円×3チーム=45000円 (Ca1) 大会団体申込：10000円×6チーム=60000円 (Beg) 大会個人申込：2500円	¥105,000
補助金・委託金等収入		¥28,500
寄付金収入		¥100,000
自己負担金		¥12,369
合計		¥754,869

支出の部					
科目	詳細	金額	個数	小計	合計
諸謝金	審判・専門スタッフ謝金 (10000円×7名×1日)	¥15,000	7	¥105,000	¥105,000
旅費	スタッフ交通費 (岩手1名、関西6名、関東20名)	¥245,300	1	¥245,300	¥245,300
滞在費	遠方スタッフ宿泊費 (12名)	¥130,150	1	¥130,150	¥130,150
借料及び賃料	ゴミ処理代	¥420	5	¥2,100	¥2,100
スポーツ用具費	ボール等	¥6,370	12	¥76,440	¥102,838
	カラーコーン	¥1,800	1	¥1,800	
	ビブス2色	¥4,280	2	¥8,560	
	ボールカゴ (小)	¥4,673	1	¥4,673	
	ボール袋	¥4,874	2	¥9,748	
	ボール用空気入れ	¥1,227	1	¥1,227	
	空気入れの針	¥390	1	¥390	
印刷製本	チラシ・ポスター (200枚)	¥8,968	1	¥8,968	¥18,968
	パンフレット (150枚)	¥10,000	1	¥10,000	
雑務費	横断幕	¥8,571	1	¥8,571	¥8,571
	優勝賞品 (シューズ入れ)	¥2,500	10	¥25,000	¥25,000
	賞状	¥1,000	1	¥1,000	¥1,000
	優勝トロフィー	¥7,942	1	¥7,942	¥7,942
消耗品費	スタッフ用お弁当・飲料 (800円×50名)	¥900	50	¥45,000	¥45,000
通信運搬費	郵送費	¥2,000	1	¥2,000	¥2,000
	物品輸送費	¥50,000	1	¥50,000	¥61,000
その他	スポーツ保険代	¥11,000	1	¥11,000	
合計					¥754,869

収入	¥754,869
収入-支出	¥0